

# 滝小だより



2026年(令和8年)

『ひびきあう ことば・こころ・こうどう』

○ことば：「よく考える子」

○こころ：「思いやりのある子」

○こうどう：「ねばり強い子」



今年もよろしく  
お原負いします

明けましておめでとうございます。令和8年(2026年)の午年を迎えました。今年が滝の沢小学校の子どもたちにとって、また、私たちの滝の沢小学校にとってもよい年になるようお願いしております。



さて、本年の干支である「午(うま)」は、行動力や活発さ、前進を象徴し、新しい挑戦や飛躍に適したエネルギーな年とされています。特に2026年は「丙午(ひのえうま)」にあたり、強いエネルギーによって物事が順調に進みやすい年と言われています。始業式では子どもたちに、馬は「元気いっぱい」の象徴であり、午年は「物事がスイスイ進む」「元気に成長する」という大変縁起の良い年であると話しました。3学期は進学・進級を控えた大切な時期です。これまでの歩みを振り返り、初心に立ち返って目標を再確認することで、馬が駆けるような勢いでグングンと成長してほしいと願っています。

また、3学期は瞬く間に過ぎていきます。子どもたちがさらなる飛躍を遂げられるよう、ご家庭や地域の皆様と力を合わせ、教職員一同、尽力してまいります。本年も変わらぬご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

## お知らせとお願い

### ◆1月27日(火)から のびゆく子ら作品展がはじまります

藤沢市の特別支援学校や特別支援学級の児童・生徒の作品を展示しています。本校5組児童の作品も出展していきまして、28日(水)には5組のみなで見学に行きます。どなたでも見学ができますので、保護者のみなさまもぜひお訪ねください。

日時：1月27日(火)～2月1日(日) 10時～19時(最終日は17時まで)

場所：藤沢市民ギャラリー(ODAKYU 湘南 GATE 6階)



### ◆職員の退職や復職等について

一昨年11月より育児休業を取得しておりました 養護教諭 が3学期より復職いたしました。また、給食調理員として長年本校に勤務しました 業務調理員が2学期をもちまして退職いたしましたので、あわせてご報告申し上げます。

### 2月の主な行事(変更することもあります)

4日(水)委員会活動 5日(木)4年社会科見学(防災センター) 6日(金)芸術鑑賞会

6日(金)教材費引落日 7日(土)ポイ捨て無くし隊(9:00～) 10日(火)2年授業参観・懇談会

12日(木)3年授業参観・懇談会 17日(火)5組・1年授業参観・懇談会 18日(水)クラブ活動

25日(水)4年授業参観・懇談会 26日(木)5年授業参観・懇談会 27日(金)6年地産地消マルシェ



## ◆自転車の乗り方 と お年玉の使い方 について(2学期終業式での話より)

令和8年4月1日から、自転車の交通違反に対して「青切符」による反則金制度が導入されるのをご存じでしょうか。対象は16歳以上となりますが、2学期の終業式ではこの話題に触れながら、全校児童に自転車の乗り方、ルールとマナーについて話をしました。地域の方々からは、「歩道を猛スピードで走っている」「親子や友達同士で並んで走行していて危ない」といったご指摘をいただくことがあります。もし歩行者とぶつかれば、相手に一生残るけがをさせてしまうかもしれません。今年4月からは、例えば「並進」と



いう違反一つをとっても、3000円の反則金が科せられます。大切なのは金額の有無ではなく、「なぜお金を払うほどの罰則があるのか」という点です。それは、その行為が誰かの命を脅かすほど危険だからに他なりません。幸い、この冬休みは無事故で過ごすことができました。この安全を維持できるよう、ぜひご家庭でも「加害者にも被害者にもならない乗り方」について、話題に挙げてみてください。

終業式では、お年玉の使い方についても話をしました。ぜひ知っておいてほしいのは、お金は「持ち歩くだけ」でリスクになるということです。防犯上の不安はもちろんですが、特に心配なのは、子ども同士の貸し借りによる人間関係の亀裂です。「明日返すから」という言葉を信じて、大好きな友達を失うような悲しい経験はさせたくありません。お金を持つと、つい誰かに見せたり自慢したくなったりするのが子どもの心理です。しかし、それを見た相手がどう感じるかまで想像を巡らせることは、まだ子どもには難しいものです。たとえお金をポケットやカバンに隠していても、お金を多額に持ち歩くことは、子どもの心に思わぬ「スキ」を作ってしまいます。健全な金銭感覚と友情を守るため、ご家庭でもお金の管理の仕方を話し合っていたいただければと思います。

また、「フルーツポンチ」の動画を二つ見せました。一つは中身がこぼれてしまう動画、もう一つは、こぼれそうでこぼれない動画です。私は子どもたちに、本校の児童一人ひとりが、このフルーツポンチのフルーツと同じ「なくてはならない存在」だと伝えました。誰一人として、器からこぼれて(こぼれ落ちて)しまうようなことがあってはなりません。そして、その大切な中身がこぼれないように支え合うのが、一人ひとりの役目であるという話もしました。思いやりにあふれる本校の子どもたち、互いを大切に思い、手を取り合うことで、きっと誰もが安心して過ごせる学校をつくってくれると信じています。



## ◆よりよい学校づくりのためのアンケートへのご協力 ありがとうございます

年末のお忙しい中、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。皆様からの温かいメッセージは、教職員の大きな励みとなっております。詳しい結果は後日改めて公表いたしますが、今回は記述欄に寄せられたご意見への回答を先行してお伝えします。前回同様、「施設・設備面の改善」や「安全・防犯」に関するご要望をいくつかいただきました。これらの課題は、お子様の安全を守る上で非常に重要であると認識しております。予算等の兼ね合いから学校単独での即時解決が難しい面もございますが、教育委員会等の関係機関とも連携を図り、今できる最善の努力を継続してまいります。なお、お問い合わせのあった AED(自動体外式除細動器)は、現在「職員玄関」と「体育館入り口」の2カ所に設置されております。ご確認いただければ幸いです。

### 児童支援担当教諭より

新しい年を迎え、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。ご家庭での様子はいかがでしょうか。3学期は登校日数が少ない分、生活リズムを整え、落ち着いて学習に取り組める環境づくりが大切になります。お子様が安心して自分らしさを発揮できるよう、担任や各職員と連携し、きめ細やかな支援に努めてまいります。学習や生活の面で、気になることや共有しておきたいことがございましたら、遠慮なくお知らせください。保護者の皆様と一緒に考え、お子様にとってより良い過ごし方を模索していければ幸いです。今学期もどうぞよろしくお願い申し上げます。

